

円分のいびきかいたのみででありました。翌朝、目覚めると窓からは関東平野が一望でき、その先に富士山も見えていました。これはお値打ちかも知れませんが、展望台入場料千円分か？朝食は45階のダイニング、目玉焼きかスクランブルかと青い目のボーイさんに英語で聞かれ、ちよつと異国情緒。パンもおいしく頂きましたが、納豆とごはんは有りませんでしたが。ここで「納豆と味噌汁とごはんと漬物、プリーズ。」なんて、要望言つてかえりてもらえると幸せなんですけどね。そしたら伝説のサービスクана。次に泊るのは何時の事やら、うつとこのお母さんをご招待しても「ああ、しんどかつたわ。」なんて言われちゃいそうなんです。やはり庶民は庶民、ちなみに大ちゃん次の東京出張は、広島市東京会館7千8百円でした。これのほうで落ち着く落ち着く、ギャツプギャツプでありました。

**「書写の里の隠れ家
風流亭いびきよ。」**

けっこう一人で入るにやはずかしい。デモでもどつしても行つてみたいとこつて有りますよね。じゃつじやん、風流亭さんです。外から見るとホントに怪しいんですよ。(悪い意味じゃないで

すよお気を悪くしないでねオーナードさん。ついにこないだ2回目にして行つて来ました。ただかだかレストランなんて言わないで、やつぱり入りにくい事もあるんだな。そついつたときは、「今日しかない！」つて言い聞かせて入るんだな。それ、愛車を抱えて止める場所をさがす、盗まれないように立木にチェーンで固定して準備万端です。入口には古い客車が置いてあり、他には庵風の田舎家と竹林沿いの離れ座敷が有ります。どちらも風流。田舎家の方へ入つていきましよう。中には先客が3人、近所の人たちでしょうが、おしやれではない。これが姫路か？



近所のお喫茶店状態。広域に知られればもつと粋な人が集まるのでは？調理は別棟です。ので離れの雰囲気はgoodです。待つことしばし、完璧アルバイトのお姉さんがやつて来た。メニューを見る、おしやれな和食もそつている、接待にも使えるかも。注文はビール、つまみはから揚げを注文。いつも自転車散歩はビールと決まっています。これが楽しみで自転車にも乗つてようなものです。注文してから探検で

す、まずは奥の竹林そばの座敷へ、20人くらいは入れそう、板張りの簡素なつくり。その隣は野外、コーナー、入口の客車も見学です。「あつ、ちよつと見せてね。」なんてずんずん入つていく。ここはフォーク酒場でギターが置いて有ります。このギターを借りてお客さんが昔を懐かしんで歌うんでしようね。ちよつと大ちゃんの世代にピツタリ。これも興味しんしんです。時間は夜の7時から、どんなお客様が来るのかしらね。場所が場所だけに車では来にくい。タクシード来てタクシード帰るかしかありません。想像するに近所のおじさんとおばさんが集まつていそうです。イメージは都会的でも客層は田舎的、オーナードの人もギャツプに苦しんでいそうだな。(吉田拓郎、かぐや姫、岡林信康、加良、大ちゃんもむかしむかしギターを弾いていました。ああなつかしい、



また今度、夜に来るねと挨拶して偵察終わりです。さてさて、場所はといますと、書写にABC住宅展示場が有ります、その西北です。竹林の西北です。それしかいえませんが、そんな場所にあります。ぜひ、いつてみてちよ。

**「BenHouseの
ニューフェイスです。」**

去年の7月入社した赤瀬和子さんです、大手ソフトハウスで営業として活躍していました、システムの事ならお任せ、営業大好きウーマンです、ちよつと見、柴崎コウさん、もつといいか？そんな赤瀬さん、社員の黒川さんのお誕生日に手作りケーキのプレゼント。BenHouseの歴史始まって以来の幸せ者、黒川さんです。赤瀬さん、仕事の出きる人ですから、家事は苦手と思いきや、神は2物を与えたか？そんな赤瀬ですが、ご挨拶に行きました折は、是非お誕生日をお知らせください。キーキが届くかも、但し、ご注文もヨロシクね、あとが高いかもかモデス。

